

本冊子には、自ら「気付く」ためのきっかけが多く含まれています。「気付く」ことで、自ら考えて「行動」ができるようになります。環境だけではなく、開発、平和、国際理解等、文化面や社会面も含めて、持続可能な社会を構築できるよう、私たち一人ひとりの行動を見直して変えていくことがESDの目的であり、そのために本冊子をお役立てください。

※ESDはEducation for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略称です。

## ESDの視点で工夫する (問題解決に必要な能力・態度を身に付ける) －工夫の例－

### 批判 批判的に考える力



合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力。

### 未来 未来像を予測して計画を立てる力



過去や現在に基づき、あるべき未来像(ビジョン)を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力。

### 多面 多面的、総合的に考える力



人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解し、それらを多面的、総合的に考える力。

### 伝達 コミュニケーションを行う力



自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力。

### 協力 他者と協力する態度



他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度。

### 関連 つながりを尊重する態度



人・もの・こと・社会・自然など自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度。

### 参加 進んで参加する態度



集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度。